

2006年9月6日

意見聴取反映WG／意見書検討

目次案（田中リーダー案）の修正の検討

はじめに

I 住民意見聴取・反映のためにとられた従来の方法

1. 基本的概念
 - ・意義と機能
 - ・法的位置付け
 - ・委員会が提言した方法（の概要）
2. 対話集会の評価
 - ・全体的評価
 - ・各対話集会の評価

II 住民意見聴取・反映の方法に関する新たな（or 改善）提案

1. 対話集会の改善
 - ・開かれた対話のあり方
2. 意見聴取の方法～新たな手法
 - ・「伝える」「聴く」「共存する」の新手法の模索
 - ・サイレントマジョリティと無関心について（考え方とその対応）
 - ・聴取と反映のしくみに関する提案
 - ・専門部署の設置
 - ・住民意見反映委員会（仮称）の設置（※住民意見を整理し、正確に反映すべきことを提言する役割）
 - ・開かれた流域懇談会の設置
 - ・情報公開
 - ・説明責任
 - ・社会的合意の考え方
 - ・集める方法
 - ・「住民との連携・協働」「相互理解」の具体化と実践
 - ・安全・安心・納得・満足→信頼

おわりに